

ESG × SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社は、長期 VISION「いちご 2030」のとおり、従来の心築を軸とした事業モデルをさらに進化させるとともに、地域および地球に優しいクリーンエネルギー事業を積極的に推進しており、サステナブルな社会を実現するための「サステナブルインフラ企業」として大きな成長を目指しております。

2020年9月、株式会社三井住友銀行が組成した、国連環境計画・金融イニシアティブ「ポジティブ・インパクト金融原則」に則る「ポジティブ・インパクト金融原則適合型 ESG / SDGs 評価シンジケーション」により、国内不動産業としては初の資金調達を行いました。

ESGへの優れた取り組みと情報開示、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとして、評価ランクとしては最上位に次ぐご評価をいただき特に、「製品・サービスにおける環境負荷削減の取り組み」、「ローカル / グローバル・コミュニティへの配慮」、「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」において高い評価をいただきました。

 Environmental 環境	 Social 社会	 Governance ガバナンス
 <p>180MW を超える発電所の開発・運営 グループ会社を含むCO2排出削減活動</p>  <p>事業遂行にあたり、エネルギー使用量の削減、施設等の長寿命化、節水、廃棄物の削減・リサイクル等に努めることを開示</p>	 <p>管理職（チームリーダー以上）における 女性比率は24.3%（2020年）</p>  <p>商業施設やホテルブランド展開による 地域活性化・観光強化への取り組み クリーンエネルギー事業の全国展開</p>	 <p>「心築」機能を軸とした事業モデル展開によるテナント満足度向上と収益創出</p>  <p>取締役9名中、独立社外取締役5名選任 取締役には外国人や女性も含めており 取締役会の多様性を保持</p>

SDGs達成への貢献に対する評価

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



クリーンエネルギー事業や心築を通じ、地域とともにまちづくり事業を展開。その拡大により、再生可能エネルギーの増加や地域経済の活性化等を実現し、SDGsが示す「目標7（クリーンエネルギー）」「目標11（住み続けられるまちづくり）」等の達成に貢献

当社は、経営理念である「日本を世界一豊かに」のとおり、今後ともさらなる社会貢献を図るとともに、サステナブルな社会を実現するための「サステナブルインフラ企業」として、引き続き、将来を見据えた戦略的な事業展開を通じて、事業優位性のさらなる拡充を図り、株主価値の最大化に向け全力を尽くしてまいります。

※ポジティブ・インパクト金融原則とは
SDGsの達成に向け、金融機関が積極的な投融資を行うための原則として、2017年1月に国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEPFI)により策定されたものです。資金提供先企業のネガティブな影響を軽減し、現実的かつ信頼性のある方法でポジティブな影響を高めるための資金提供のあり方が定められており、「定義」「枠組み」「透明性」「評価」の4つの原則で構成されています。